



東京都教育の日

※ 都教育委員会は、毎年11月第1土曜日を「東京都教育の日」と定めています。

教育庁報

平成18年(2006年)8月7日

No. 518

東京都教育庁総務部
教育情報課
Tel 03(5320)6733

東京都教育委員会ホームページアドレス <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>

今月の主な内容

- 都立学校の学校設定教科・科目「日本の伝統・文化」カリキュラム … 1
- 平成18年度「米長邦雄の親子ふれあい将棋教室」(夏期) …… 3
- 第2回企業向けセミナー
一 知的障害養護学校生徒の雇用促進と職場定着に向けて … 4
- 教育庁次長に松田二郎前知事本局企画調整部長が就任 …… 4
- ロボカップ世界大会で都立工業高等専門学校のチームが大活躍! … 5
- 平成18年度全国高等学校総合体育大会 都立高等学校出場校生徒一覧 … 5
- 第30回全国高等学校総合文化祭 都立高等学校出場校生徒一覧 …… 5
- 平成17年度公立中学校卒業者の進路状況調査の結果 …… 6
- オリンピック特別資料展「1964 東京オリンピック、そして今」…… 6

さあ夏休み!

7月20日、多くの都内公立小中学校で、第一学期の終業式が行われました。文京区立本郷小学校では、校長先生から「1日の終わりに、よかったなと思えるような夏休みを過ごしましょう。」とお話がありました。1年生の教室では、先生から一人一人に、初めての通知表が手渡されました。



都立学校の学校設定教科・科目「日本の伝統・文化」カリキュラム

都教育委員会は、日本の伝統・文化理解教育推進事業の一環として、都立学校の学校設定教科・科目「日本の伝統・文化」のカリキュラムを開発しました。

学校設定教科・科目「日本の伝統・文化」は、平成19年度から各学校が独自の判断で設定するとともに、生徒が主体的に判断して選択するものであり、履修単位数は2単位です。

【カリキュラムの概要】

第1章 学校設定教科・科目「日本の伝統・文化」について

「日本の伝統・文化」の基本的な考え方として、日本の伝統・文化には、「長い年月を経て、日々の中で様々な形を変えて伝わってきたもの」、「現代において評価され価値のあるもの」及び「新たな文化となって未来へと連綿と受け継がれて生き続けるもの」とがあり、それらが互いに重なり合って過去から未来への流れを形成していることなどを示している。

第2章 教育課程編成の基本方針

1▶ 教育課程編成の視点

- (1) 日本の伝統・文化への理解を深め、郷土や国に対する愛着や誇りをはぐくむこと。
- (2) 思考力、創造力及び表現力を育成すること。
- (3) 学校の創意工夫を生かし、特色ある教育活動を進めること。

2▶ 重点事項

- (1) 体験的な学習を積極的に取り入れ、実感の伴った伝統・文化の理解を深めさせる。
- (2) 外部の人材や施設等を活用し、「本物」にふれることで学習意欲を喚起させる。
- (3) 伝統・文化の背景を理解させるとともに、実生活とのかかわりについて考えさせ、生かすことができるよう指導する。
- (4) 発表や討論を取り入れ、生徒が学んだことを自分の言葉で表現できるよう指導する。
- (5) 新たな伝統・文化を主体的に創造し、発信できるような指導の工夫を行う。



第3章 「日本の伝統・文化」の目標及び指導内容

1 目標

国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りを養うとともに、多様な文化を尊重できる態度や資質をはぐくむ。

2 指導内容

(1) 日本人の心に関すること

- ① 日本人の自然に対する繊細な感覚や人間としての細やかな礼儀・作法を理解するとともに、生活の中で生かす工夫をし、他者に説明・発信すること。
- ② 言葉や仕草の中に込められた独特のよさや美しさを味わうとともに、自らもそれらを表現すること。
- ③ 郷土や地域社会の中で今も受け継がれている慣習や、人と人との絆などについて理解を深めること。
- ④ 囲碁・将棋、茶道、華道、武道などにかかわる伝統的な考え方を理解し、そこに込められた日本人の精神文化を探ること。
- ⑤ 地域社会の歴史を学ぶことを通してそれぞれの文化の違いに気付き、文化の創造や発信に生かすこと。



(2) 衣食住に関すること

- ① 日本の衣食住の総括的な変遷を調べたり、その特質を感じ取ったりしながら、日本の伝統・文化を伝承する意欲と態度を身に付けること。
- ② 和装のもつ豊かな美に興味をもつとともに、行事や四季折々に着る和服の着付けや歩き方などの基礎を身に付けること。
- ③ 和食や和食器などの道具に込められた人々の思いや心を理解すること。
- ④ 日本の住空間が自然とのかかわりから発展してきた歴史、自然との調和を考えてつくられてきた過程に対する理解を深め、文化遺産として尊重する態度を身に付けること。
- ⑤ 文化を支えてきた人たちの技や道具のすばらしさに気付くとともに、技の継承や道具の工夫など、伝統・文化を尊重し発展できる能力を身に付けること。

(3) 芸術や芸能に関すること

- ① 日本の芸術や芸能の特質や変遷を理解し、文化の継承と創造への関心・意欲を高めること。
- ② 古典から現代までの文学・美術・音楽作品、郷土の伝統芸術や芸能の多様性を理解し、誇りをもって他者や国際社会に説明したり、紹介したりできる能力を身に付けること。
- ③ 多様な芸術や芸能にふれることから、表現や創造へと発展的に取り組む態度を身に付けること。

(4) 保存や修復など「伝承」に関すること

- ① 伝統・文化を保存・修復する意義を理解し、日本の伝統・文化を伝承する意欲と態度を身に付けること。
- ② 古い技術に学びながら、新しい時代の文化の発展や創造に貢献しようとする意欲と態度を身に付けること。

第4章 教育課程編成の実際

1 年間指導計画の作成に当たって

次の(1)から(4)の学習活動をバランスよく組み合わせたり、学校や地域社会の特色を生かした視点を強調したりすることにより、創意工夫ある年間指導計画を作成する。

- (1) 身近な地域社会の文化理解を重視すること。
- (2) それぞれの伝統・文化を調査したり体験したりすること。
- (3) 異文化理解や文化比較を取り入れること。
- (4) 生徒が、学習したことを表現したり伝え合ったりする学習を取り入れること。

2 「日本の伝統・文化」の評価の観点

(1) 日本の伝統・文化への関心・意欲・態度

自分の考えをもち、進んで日本の伝統・文化に親しむとともに、文化を継承する喜びを味わおうとしている。

(2) 創造への工夫

連綿と受け継がれてきた伝統・文化を評価し、新たな文化を創造したり、文化の在り方を工夫したりしている。



(3) 発表・交流の能力

日本の伝統・文化のよさや美しさを発表したり、国際的な視野に立って交流したりしている。

(4) 鑑賞の能力

日本の伝統・文化のよさや美しさなどを感じ取ったり、味わったりするとともに、日本の伝統・文化をはぐくんできた歴史、風土、慣習などのよさに気付いたり、価値を理解したりしている。

第5章 年間指導計画例

合計6編の年間指導計画例を掲載し、単元ごとの時数、学習目標、学習活動、留意点と主な評価の観点を示している。週2単位時間（2単位時間×年間35週＝70時間）とし、年間を通して学習する。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 日本の伝統・文化概論 | 4 江戸から東京、そして現代日本の文化 |
| 2 和の心 | 5 情報・メディアと日本の伝統・文化 |
| 3 未来に伝える日本の伝統・文化 | 6 和の響き |

第6章 単元例（指導案例）

「年間指導計画例」の中にある単元のうち、27編の指導案例を示している。その内容は、「単元について」「単元の目標」「指導体制・形態等」「評価規準」「指導計画」から成る。

- | | |
|-------------------------|----------------------------------|
| 1 鳥獣戯画、北斎漫画からアニメへ | 15 折り紙を折る－野口宇宙飛行士による「宇宙鶴」プロジェクト－ |
| 2 江戸・東京を歩く | 16 身の回りの情報・メディア |
| 3 箸と椀 | 17 和からジャパンプランドの創出 |
| 4 モダン都市東京の生活文化 | 18 祭りの魅力 |
| 5 ジャパンパーティーの企画演出 | 19 現代の芸術にみる日本の伝統・文化 |
| 6 日本の遊び | 20 出版文化の誕生を探る |
| 7 「道」に学ぶ | 21 いろいろな文字を読んでみよう |
| 8 生活に生きる江戸の文化 | 22 世代をつなぐ日本のうた |
| 9 道具と工具 | 23 事件・情報とメディア |
| 10 和の響きを聴く | 24 儀式における音・音楽 |
| 11 将棋に学ぶ | 25 日本の住まい |
| 12 文化としての日本の音 | 26 日本的な感性を味わおう－手作り和楽器に挑戦！－ |
| 13 色、形、文様－風呂敷に学ぶ(1)－ | 27 ダンスと和楽器による総合的表現 |
| 14 おる、つつむ、結ぶ－風呂敷に学ぶ(2)－ | |

一心の東京革命推進事業－

平成18年度「米長邦雄の親子ふれあい将棋教室」（夏期）

7月22日、都庁において「米長邦雄の親子ふれあい将棋教室」が開催されました。都教育委員でもある米長邦雄（社）日本将棋連盟会長をはじめ、森内俊之名人、山口英夫八段、中田宏樹八段、田辺一郎七段、滝誠一郎七段、岡崎洋六段、高崎一生四段、遠山雄亮四段、藤田麻衣子女流1級及び小田切秀人指導棋士四段の御指導により、参加した243人の親子が将棋に取り組みました。親子同士での対局やプロ棋士による指導対局のほか、初心者向けのコーナーもあり、親子で相談しながら駒を進めるなど、夏休みの1日を楽しみました。

今回は、特別企画「ふれあいインタビュー」と題して、森内俊之名人からお話を伺いました。名人は、小学校3年生のときに将棋を始めたきっかけや、幼稚園のころ家族でオセロゲームをした思い出などを振り返るとともに、将棋の魅力については、「レベルにかかわらずみんなで楽しめるものです。これからも家族で将棋に親しんでください。」と話されました。



第2回 企業向けセミナー

一知的障害養護学校生徒の雇用促進と職場定着に向けて



パネルディスカッション

都教育委員会は、「東京都特別支援教育推進計画」に基づき、都立盲・ろう・養護学校生徒の職業的自立を目指して、職業教育や就労支援の充実に向けた取組を推進しています。7月13日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、インターンシップや雇用を進める上で参考となるような具体的方策を提示する、企業向けセミナーを開催しました。昨年度に続き第2回となったこのセミナーは、都教育委員会と東京労働局との共催で、都内企業の人事担当者など約200名の参加がありました。

セミナーでは、まずプレゼンテーションが行われ、都教育委員会及び東京労働局の担当者から、職業教育や就労支援の現状と取組について、また、東京都知的障害養護学校就業促進研究協議会からは、都立養護学校での現場実習や雇用促進への取組について紹介されました。

その後、増田秀暁氏（養護学校等就労サポーター）をコーディネーターに、岡内伸二氏（㈱資生堂人事部人権啓発グループ課長）、内藤佳子氏（日本ゼネラル・エレクトリック㈱人事部マネージャー）、松笠裕之氏（㈱森ビルホスピタリティコーポレーション グランドハイアット東京人材開発部人事マネージャー）、四王天正邦氏（㈱伊勢丹ソレイユ総務部長）をパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われました。「企業における養護学校生徒の現場実習・雇用・定着へのチャレンジについて～最近の動向～」と題し、4人のパネリストが、それぞれの企業での取組を紹介した後、障害者雇用に取り組み上での課題や知的障害養護学校の職業教育に望むことなどについて、意見を交換しました。

教育庁次長に松田二郎前知事本局企画調整部長が就任

比留間英人教育庁次長の中央卸売市場長就任に伴い、後任として松田二郎前知事本局企画調整部長が7月16日付けで就任しました。

【松田次長】昭和27年生まれ、昭和50年入都。労働経済局総務部職員課長、同局商工計画部計画課長、同局参事（総務部総務課長事務取扱）、知事本局参事（政策担当）、産業労働局産業政策担当部長、知事本局秘書部長、同局企画調整部長などを歴任し、今回教育庁次長（中央図書館長事務取扱）に就任。



松田教育庁次長



退任のあいさつをする比留間前次長

●部長級人事異動

- ▷学校経営指導・都立高校改革推進担当部長 新井清博〈参事（学校経営指導・都立高校改革推進担当）〉
- ▷人事企画担当部長 直原 裕〈参事（教育政策担当）〉
- ▷参事（教育政策担当） 石原清志〈下水道局南部建設事務所副所長兼庶務課長〉
- ▷参事《総務部総務課長事務取扱》 藤森教悦〈総務部総務課長（統括課長）〉
- ▷参事《東部学校経営支援センター支所長兼経営支援室長事務取扱》 奥村誠一〈学務部局務担当課長（統括課長）《東部学校経営支援センター支所長兼経営支援室長》〉
- ▷参事《西部学校経営支援センター支所長兼経営支援室長事務取扱》 高畑崇久〈学務部局務担当課長（統括課長）《西部学校経営支援センター支所長兼経営支援室長》〉
- ▷教職員研修センター企画部長 高橋貞美〈参事《（財）東京都生涯学習文化財団派遣（東京体育館長）》〉
- ▷中央図書館管理部長 中村雄一郎〈参事《（財）東京都生涯学習文化財団派遣（事務局長）》〉
- ▷参事《全国都道府県教育委員会連合会派遣（事務局長）》 坂 崇司〈中央卸売市場参事（市場政策担当）〉
- ▷参事《（財）東京都生涯学習文化財団派遣（東京体育館長）》 和田英治〈生涯学習スポーツ部スポーツ振興課長（統括課長）〉

※〈 〉は前職

ロボカップ世界大会で都立工業高等専門学校のチームが大活躍！

6月14日から18日まで、ドイツ・ブレーメンで「ロボカップ2006」世界大会が開催され、ジュニア部門に都立工業高等専門学校から3チームが出場しました。そのうちレスキューチャレンジ・マルチチームに出場した「LINK」チームが、見事優勝を果たしました。レスキューチャレンジ・マルチチームとは、他の国のチームと協力しながらコース上の被災者を助けるという競技で、「LINK」チームは決勝で中国のチームとペアを組み、うまく作戦を立てながら満点のスコアを獲得しました。このほか、「P-Fighters」チームがダンスチャレンジで「ベストプレゼンテーション賞」を受賞するなど、素晴らしい結果を残しました。



レスキュー・マルチチーム決勝

「LINK」チームリーダーの中川君は、「世界大会では、いろいろな国のチームとコミュニケーションを取りながら作戦を決めていくので、英語での会話にとっても苦労しましたが、お互いロボット好き同士なので、うまく協力できたと思います。また来年もチャレンジしたいと思います。」と喜びを語っていました。

☆ **ロボカップとは**、自分で考えて動く自律型のロボットによる競技会で、世界各国の研究者や学生がこの活動に参加しています。ジュニア部門には、赤外線を発するボールを相手ゴールに入れて得点を競うサッカーチャレンジ、2チームのロボットが協力して決められたコース上の被災者を見つけだすレスキューチャレンジ、自由な発想でダンスパフォーマンスを行うダンスチャレンジの3部門があります。

平成18年度全国高等学校総合体育大会 都立高等学校出場校生徒一覧

8月1日から20日までの日程で、大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県で開催される平成18年度全国高等学校総合体育大会に出場する都役員及び選手の結団式が、7月8日都庁で開催されました。出場する都立高校は次のとおりです。

種目	種別	学校名	選手名
陸上競技男子	110mハードル	駒場	草野 広大
	走幅跳	足立新田	孫 玉龍
	円盤投	昭 和	木村 和博
陸上競技女子	400mハードル	足立新田	矢野 美幸
	走高跳	駒場	長 明日香
	走幅跳	駒場	長 明日香
体操男子	個人	駒場	市原雄一郎
ソフトテニス男子	個人	清 瀬	高田 広大
	個人	清 瀬	金子 直紀
ソフトテニス女子	個人	武蔵村山	本保 成見
	個人	武蔵村山	阿倍 晴奈
相撲	個人	足立新田	明月院秀政
ボクシング	個人フライ	南 多 摩	野崎 雅光
自転車	チームスプリント	八王子工業	三枝 謙一
			大石 祥雄
	4km速度競走	八王子工業	園部 来夢
			大石 祥雄
個人ロードレース	八王子工業	三枝 謙一	
		高里 修平	
空手道男子	個人形	福 生	白保 香織
なぎなた	団体	富 士	芝山 桃子
			石田このみ
			厚地ゆりえ
			清山 萌
			長尾富士子
	三浦 萌子		
	個人	富 士	石田このみ
演技(しかけ)	城 東	松尾麻衣子	
演技(応じ)		三条 美紀	
演技(しかけ)	富 士	清山 萌	石田このみ
演技(応じ)			

第30回全国高等学校総合文化祭 都立高等学校出場校生徒一覧

8月2日から6日までの日程で、京都府で開催される第30回全国高等学校総合文化祭に出場する都役員及び選手の壮行会が、7月9日都庁で開催されました。出場する都立高校は次のとおりです。

部 門	学 校 名	出演者名・部名
演 劇	八 王 子 東	演劇部 (15名)
合 唱	八 王 子 東	合唱部 (29名)
吹 奏 楽	国 立	吹奏楽部 (89名)
日 本 音 楽	狛 江	箏曲部 (24名)
	白 鷗	和太鼓部 (12名)
郷 土 芸 能	深 沢	和太鼓部 (17名)
	西	石井 優絵
美 術 ・ 工 芸	芸 術	古郡 桃子
	芸 術	坪倉 未依
	立 川	宮入 文香
	府 中 東	青柳 翔
	桐 ケ 丘	御正 和来
	国 立	渡辺 朝子
	井 草	飯田 結花
書 道	葛 飾 商 業	橋本 明
	清 瀬 東	高橋 陽
	久 留 米	浅野 裕美
	小 石 川 工 業	篠原 猛夫
	新 宿	岸川 彩夏
	新 宿	平野 美緒
	光 丘	榎 なつみ
放 送	武 蔵 村 山	羽村 未央
	豊 多 摩	小原 朋
	豊 多 摩	趙 麻奈
囲 碁	新 宿 山 吹	尹 智漢
	日 比 谷	山崎 春蘭
将 棋	日 比 谷	志賀 優
	駒 場	長谷川 愛
百 人 一 首 かるた	駒 場	渡邊 花織
	工 芸	加藤由香子
	工 芸	和田 望
「京都」(「丹後ちりめん」衣装デザイン)		

平成17年度 公立中学校卒業生(平成18年3月卒業)の 進路状況調査の結果 (中間発表)

この調査は、平成18年3月に東京都の公立中学校を卒業した者の進路状況について、公立中学校648校を対象に実施したものです。

なお、詳細については、10月中旬に小学校・高等学校・盲・ろう・養護学校等の進路状況を含めて、公立学校統計調査報告書「公立学校卒業生(平成17年度)の進路状況調査編」として公表する予定です。

【特徴】

- (1) 平成18年3月の公立中学校の卒業生は72,527人で、前年度73,588人と比べ1,061人(1.44%)減少した。
- (2) 高等学校進学率は97.09%で、前年度96.88%に比べ0.21ポイント増加した。(過去20年間で1位)
- (3) 高等学校全日制(高等専門学校を含む。)への進学率は91.15%で、前年度90.95%に比べ0.20ポイント増加した。
- (4) 高等学校定時制への進学率は4.10%で、昨年度4.14%と比べ0.04ポイント減少した。

調査期日：平成18年5月1日現在

単位：人

項目	卒業年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	対前年度増減	
卒業生		79,556	78,386	77,451	73,588	72,527	△ 1,061	
① 進学者(含就職進学者)		76,603 (96.29)	75,898 (96.83)	74,903 (96.71)	71,293 (96.88)	70,413 (97.09)	△ 880 (0.21)	
高等学校	全日制	72,445 (91.06)	72,151 (92.05)	70,765 (91.37)	66,930 (90.95)	66,110 (91.15)	△ 820 (0.20)	
	都内	公立	44,321	43,606	43,036	40,658	40,028	△ 630
		私立	24,680	25,225	24,635	23,282	23,193	△ 89
		国立	271	280	295	277	308	31
	都外(他県)	3,173	3,040	2,799	2,713	2,581	△ 132	
	定時制	2,803 (3.52)	2,390 (3.05)	2,838 (3.66)	3,050 (4.14)	2,975 (4.10)	△ 75 (△ 0.04)	
	都内	都外(他県)	2,772	2,366	2,821	3,024	2,957	△ 67
		就職している者	64	41	48	45	42	△ 3
	就職していない者	2,739	2,349	2,790	3,005	2,933	△ 72	
	通信制	848 (1.07)	718 (0.92)	659 (0.85)	683 (0.93)	694 (0.96)	694 (0.96)	11 (0.03)
	就職	している者	17	26	12	9	12	3
		していない者	831	692	647	674	682	8
盲・ろう・養護学校高等部	507 (0.64)	639 (0.82)	641 (0.83)	630 (0.86)	634 (0.87)	634 (0.87)	4 (0.01)	
② 専修学校等入学者	1,113 (1.40)	853 (1.09)	821 (1.06)	784 (1.07)	731 (1.01)	731 (1.01)	△ 53 (△ 0.06)	
専修学校	779	573	571	558	521	521	△ 37	
各種学校	228	214	188	158	159	159	1	
公共職業能力開発施設等	106	66	62	68	51	51	△ 17	
③ 就職者	637 (0.80)	510 (0.65)	564 (0.73)	509 (0.69)	531 (0.73)	531 (0.73)	22 (0.04)	
④ その他の者	1,194 (1.50)	1,122 (1.43)	1,154 (1.49)	995 (1.35)	845 (1.17)	845 (1.17)	△ 150 (△ 0.18)	
在宅家庭者	進学希望	248 (0.31)	196 (0.25)	266 (0.34)	237 (0.32)	190 (0.26)	△ 47 (△ 0.06)	
	就職希望	164	171	165	143	96	△ 47	
	その他	632	615	559	486	450	△ 36	
	その他(在宅家庭者以外の者)	150	140	164	129	109	△ 20	
	死亡・不詳	9 (0.01)	3 (0.00)	9 (0.01)	7 (0.01)	7 (0.01)	0 (0.00)	

(注) 1 全日制進学者には、高等専門学校進学者を含む。

2 ()内は割合(%)を示す。

3 構成比については、小数点以下第3位を四捨五入したため、各構成比率を合計しても100.0にならない場合がある。

お知らせ

都立中央図書館の『法律情報サービス』

「法律情報コーナー」を設置し、『法律情報サービス』を開始しました。

- 交通事故、相続、近隣トラブルなどのテーマごとに、資料を展示し、案内リストを提供します
- 法律関係の情報を、図書・年鑑・雑誌、判例集等を活用して御案内します
- 法律関係の相談機関や関連機関の情報を積極的に提供します
- 都立図書館のホームページに、法律情報サービスのコンテンツを掲載します
- 裁判員制度の講演会や法律情報の探し方等の講習会を開催します

都立中央図書館 東京都港区南麻布5-7-13(有栖川宮記念公園内)

詳細は……電話 03-3442-8451 又は <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

オリンピック特別資料展 「1964 東京オリンピック、そして今」

7月19日から8月8日まで



東京都は、2016年オリンピック開催都市に立候補しました。立候補に当たり、都立図書館所蔵の図書資料を中心に、1964年の東京大会を振り返り様々な角度から東京オリンピックを紹介する資料展を、都庁で行いました。